

俺様の俳句

皆さん最近何か新しいことに興味を持っていますか？去年から俳句を作るのが私の趣味になりました。

「山眠る 明日はいずこ 夢辿る」

これは、私が作った俳句です。

中学校のころ日本文化に興味を持って、ある本を読んで初めて俳句のことを知って、すごく驚きました。西洋の詩と比べて俳句はすごく短いからです。こんな小さな作品がそんなにいっぱい意味を持っているのが、すごく不思議でした。自分で俳句を作ろうとしてみましたが、うまくできなかつたので、そのころは諦めました。

それから何年も経って、去年初めて自分の俳句を作りました。そのとき私の日本語のレベルはまだ初級だったので、絶対無理だと思いましたが、授業で森先生と深田先生と一緒に私の気持ちを正確に伝えるための言葉を長い時間かけて探しました。

「秋の道 燃え上がる森 死の準備」

この俳句を作って、すごく感動しました。自分の気持ちをこんなにきれいに表現できるなんて信じられませんでした。それからもっと俳句を作ることにしました。

俳句には季語という季節の言葉を入れなければなりません、最初は自分一人で季語を探すのは難しかったので、廣瀬先生に相談しました。先生は現代的な言葉を提案してくれましたが、俳句の古代の雰囲気が好きなので、現代とは無縁の言葉

を使おうと思っていました。正しい言葉を見つけて、それを使って感情を表現することはいつでも時間がかかりますが、私にとって大きな喜びです。

実は私の最初の俳句は絶望感が強すぎたので、今後はもっと希望が持てる俳句を作ろうとしましたが、どうしてもそうならないこともあります。ところが、そんな時に、友達や先生にこれらの俳句を、自分の伝えたかったことを説明しないで読んでもらったら、自分の伝えようとしたことより、明るい印象を与えていたということがありました。俳句の意味の受け取り方が人によって違うのも面白いと思います。

「夏の空 緑海から 深呼吸」

この俳句を読んでどう感じますか。皆さんにも私の俳句に自分なりの意味を見いだしていただきたいと思います。

俳句のおかげで、自分の世界と、その関わり方が広がりました。時間をかけて言葉を選んで作った俳句について他の人と話しているとき、いつも楽しいです。私の俳句で誰かに感動してもらえたら嬉しいです。

皆さんも何かに興味を持ったら、どんなに難しいことに思えても、すぐに諦めないで、時間をかけて、やってみましょう。やってみないとそれがどれだけ自分の世界を広げてくれるかわからないからです。